

名称等 第47回沼津市芸術祭「ぬまづ文芸」部門以外の
開催中止のお知らせ

担当 文化振興課
直通 055-934-4812 内線 2792

1 内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、第47回沼津市芸術祭「ぬまづ文芸」部門以外の開催を中止します。

◎実施部門

「ぬまづ文芸」文芸誌の編集・発刊のみ（例年実施している表彰式は行いません）。

◎中止部門

「ぬまづ文芸」以外すべて（写真展・合唱祭・芸術祭茶会・書道展・秋の舞踏会
演劇祭・バレエパフォーマンス・沼津寄席・美術展・郷土ふれあい太鼓・邦楽祭
音楽の広場・芸能祭・現代いけばな展・クライネムジークコンサート・新舞踊祭）

2 「ぬまづ文芸」について

6月1日（月）作品募集開始、7月31日（金）当日消印有効

行事名	開催日	備考
ぬまづ文芸 入賞者発表	10月10日（土曜日）	※結果を郵送
ぬまづ文芸 発刊	11月15日（日曜日）	1冊1,000円

※表彰式は行いません。

バックナンバーご希望の方は下記までお問い合わせください。（1冊1,000円）

<お問い合わせ先>

沼津文化協会

〒410-0887 沼津市東宮後町27

電話：055-952-6597（火曜日～金曜日 13:00-16:30）

第47回沼津市芸術祭 文芸部門作品募集要項

ぬまづ文芸

主 催 沼津市教育委員会
沼津文化協会
主 管 沼津市芸術祭『ぬまづ文芸』実行委員会

1. 応募規定

- ① 全国公募
- ② 1人1種目に1編（短歌、俳句、川柳は1首（句））
- ③ 種 目

・随筆	6～8枚	選者	森脇逸男
・詩	1～3枚	選者	三木 卓
・短歌	1首	選者	栗木京子
・俳句	1句	選者	黒田杏子
・川柳	1句	選者	水野タケシ

★作品は400字詰原稿用紙を使用のこと（パソコン可）

★種目を明示すること（特に俳句・川柳は種目をはっきりと）

2. 応募上の注意

- ① 応募原稿に氏名（ふりがな）・年齢・住所・郵便番号・電話番号を明記する
- ② 応募作品は自作で未発表のものに限る
- ③ 応募原稿の訂正・さしかえは認めない
- ④ 応募規定に違反したものは「失格」とする
- ⑤ 応募原稿は返却しない

3. 応募期間 2020年6月1日（月）～7月31日（金）（当日消印有効）

4. 応募料 1種目1編に付1000円の小為替を応募作品に添えて納入する
（但 中学生以下無料）

5. 送り先 〒410-0887 静岡県沼津市東宮後町27 沼津文化協会
『ぬまづ文芸』係 TEL 055-952-6597

6. 入選発表 2020年10月10日（土）
沼津文化協会にて入選発表（投稿者には郵送にて知らせる）

7. 賞 芸術祭賞・市長賞・教育長賞・文化協会賞・奨励賞
上記5賞の方々のみ『ぬまづ文芸』一冊贈呈する
※高校生には一冊贈呈する

8. 『ぬまづ文芸』発刊 2020年11月15日（日）
上記5賞と入選は『ぬまづ文芸』に掲載される

選者プロフィール

随筆



もりわきいっお
森脇逸男

昭和6年兵庫県西宮市生まれ、山口市で育つ。昭和29年東大文学部卒、読売新聞社に入り、静岡支局、社会部、論説委員、昭和49年～55年の6年5か月間、一面コラム『編集手帳』を担当。後、社会部長、新聞監査委員長、退社後、上智大学新聞学科非常勤講師（論文作法）。現在日本エッセイスト・クラブ理事、雑学倶楽部運営委員。趣味：潜水、漢詩、古典語学習、皆既日食観察など。著書に『直言閑論』『縦言横論』『東言西論』『新版書く技術』など。

詩



みき たく
三木 卓

昭和10年静岡県生まれ。幼少年期を中国東北で育つ。静岡高・早稲田大学第一文学部卒業。詩集に『東京午前三時』（H氏賞）、『わがキディ・ランド』（高見賞）など。小説に連作短編『砲撃のあとで』（うち「鶉」で芥川賞）、『路地』（谷崎賞）、『裸足と貝殻』（読売文学賞）など。評論・評伝に『北原白秋』（藤村記念歷程賞・蓮如賞・毎日芸術賞）など。平成19年恩賜賞・日本芸術院賞。日本芸術院会員。

短歌



くり ききょうこ
栗木京子

昭和29年愛知県生まれ。京都大学理学部卒業。京大短歌会に所属し、高安国世に師事。昭和56年「塔」短歌会に入会し現在は選者を務める。歌集に『綺羅』（第5回河野愛子賞）、『水惑星』『中庭（パティオ）』『夏のうしろ』（読売文学賞・若山牧水賞）、『けむり水晶』（迢空賞・芸術選奨文部科学大臣賞）など。歌書に『短歌をつくろう』『名歌集探訪』など。読売歌壇選者、NHK学園短歌友の会選者。

俳句



くろだももこ
黒田杏子

昭和13年東京都生まれ。東京女子大学卒業。「藍生」を創刊主宰。『木の椅子』で現代俳句女流賞・俳人協会新人賞、『一木一草』で俳人協会賞を受賞。「日本経済新聞」俳壇選者。句集に『一木一草』『黒田杏子句集成』。著書に『暮らしの歳時記』『手紙歳時記』など。2010年第1回桂信子賞、2011年『日光月光』で蛇笏賞を受賞。2013年句集『銀河山河』刊行。黒田杏子編著『存在者金子兜太』を2017年に刊行。現在、雑誌『兜太TOTA』編集主幹。2020年第20回現代俳句大賞、大田原市名誉市民、第1回大関大関作新館賞。

川柳



みずの たけし
水野タケシ

昭和40年東京都生まれ。コピーライター・川柳家。現在は川柳セミナー講師やコンテスト選者、テレビの川柳バラエティーの監修、ラジオのパーソナリティーなども務める。著書に『仲畑流万能川柳文庫①水野タケシ三〇〇選』『いちばんやさしい！楽しい！シルバー川柳入門』。共著に『これから始める俳句・川柳いちばんやさしい入門書』。